

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況・事業評価

交付金限度額 (A)	337,668,000 円
受入済額 (B)	337,668,000 円
実績額 (C)	336,673,149 円
差引返納 (予定) 額 (B-C)	994,851 円

No	交付金事業の名称	事業の概要(計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期				事業終期				支出済額 [単位:円]	交付金充当額 [単位:円]	事業実施結果及び効果
			令和	年	月	日	令和	年	月	日			
1	地域経済活性化事業	①コロナ収束に向けて地域の活性化を応援 ②地域クーポンの発行に係る経費 ③5,000円券に50%のプレミアムを付与:2,500円×22,664冊 =56,660,000円 委託費 事務手数料 300,000円 印刷費(商品券、チラシ等) 1,330,000円 通信費 100,000円 雑費 110,000円 ④松崎町商工会、松崎町観光協会、松崎町	令和	2年	6月	令和	3年	3月		58,315,000	58,315,000	地域活性化の応援のため、プレミアムを付与した商品券事業を実施。事業費総額58,315,000円(プレミアム付与分56,475,000円、事務経費1,840,000円)7,500円×22,590冊=169,425,000円の経済効果があった。	
2	削除		令和	年	月	令和	年	月		0	0	計画削除	
3	事業所支援給付金	①小規模事業者の事業継続支援及び休業要請による感染症拡大防止を図る。 ②事業者へ給付金支給を行った商工会への補助金に充当 ③対象200件、一律20万円 財源 補助金 27,000千円 県交付金 13,000千円(対象事業費の1/2) ④町内の飲食業、宿泊業、観光関係事業者等	令和	2年	4月	令和	2年	6月		39,400,000	26,400,000	町内197事業所に給付金(200,000円)を支給した。197事業所×200,000円=39,400,000円を給付し、事業支援を行った。	
4	感染症拡大防止協力金	①感染症拡大防止のための休業要請に応じた小規模事業者の事業継続を支援 ②休業要請に応じた事業所への協力金に充当 ③対象130件、一律10万円 内訳 補助金 6,500千円 県交付金6,500千円(事業費の1/2) ④町内の飲食業、宿泊業、ダイビング、遊漁船	令和	2年	4月	令和	2年	7月		12,000,000	6,000,000	感染拡大防止のため、町の休業要請に応じた事業所120事業所に一律100,000円の協力金を支給した。120事業所×100,000円=12,000,000円。	
5	事業所支援給付金(第2回)	①感染症の影響により経営状況が悪化した小規模事業者の事業継続を支援する。 ②事業者へ給付金支給を行った商工会への補助金に充当 ③対象85件、一律10万円 ④町内の小売業、サービス業等	令和	2年	5月	令和	2年	7月		7,200,000	7,200,000	感染症の影響により経営状況が悪化した事業者へ一律100,000円を支給し事業支援を行った。72事業所×100,000円=7,200,000円。	
6	感染症対策融資資金利子補給金	①— ②— ③対象25件×利子補給額240千円=6,000千円 ④感染症の影響により金融機関の融資を受けた事業者	令和	2年	4月	令和	3年	3月		3,018,361	3,018,361	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた企業に対する利子補給事業を実施。19事業所、3,018,361円の利子補給を実施した。	
7	公共的空間安全・安心確保事業(学校関係)	①小中学校における感染機会の削減 ②消耗品購入及び備品購入に係る費用 ③消耗品購入費1,000千円+備品購入費1,456千円 ④小中学校の施設管理者	令和	2年	4月	令和	3年	3月		2,178,332	2,178,332	小中学校における感染防止のため、消毒液などの衛生用品や加湿空気清浄機などの備品購入。総額2,178,332円。	
8	公共的空間安全・安心確保事業(社会教育関係)	①生涯学習センター及び社会体育施設における感染機会の削減 ②消耗品購入(アルコール消毒液他)及び施設管理に係る費用 ③生涯学習センター100千円、社会体育施設50千円、施設管理費300千円 ④生涯学習センター及び社会体育施設の施設管理者	令和	2年	5月	令和	3年	3月		147,873	147,873	生涯学習センター及び社会体育施設の感染防止対策としてアルコール消毒液などの衛生用品の購入。総額147,873円。	

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況・事業評価

交付金限度額 (A)	337,668,000 円
受入済額 (B)	337,668,000 円
実績額 (C)	336,673,149 円
差引返納 (予定) 額 (B-C)	994,851 円

No	交付金事業の名称	事業の概要(計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期				事業終期				支出済額 [単位:円]	交付金充当額 [単位:円]	事業実施結果及び効果		
			年	月	日	時	年	月	日	時					
9	新型コロナウイルス感染症対策救護所等医療資機材等の整備	①新型コロナウイルス感染症に対応した救護所医療資材を整備することで、災害時に医療従事者の感染予防を図るため。また、感染予防に留意した事業実施のため。 ②感染予防のための救護所医療資材、備品、消耗品購入のための経費(救護所医療従事者用資機材、アクリルフェンス、フェイスシールド等) ③救護所用医療資機材 1,700,600円×2セット=3,401,200円 接客用アクリルフェンス 9,460円×5台=47,300円 フェイスシールド(100枚) 15,180円×1箱=15,180円 不織布3層マスク(2,000枚) 132,000円×1箱=132,000円 非接触型体温計 10,500円×2台=21,000円 ④松崎高校、旧岩科小学校、松崎町役場配置	令和	2	年	4	月	令和	3	年	3	月	1,857,059	1,857,059	救護所の感染防止対策としてマスクや消毒液、医療資機材を購入した。総額1,857,059円。
10	新型コロナウイルスに係る健康維持・増進事業	①感染予防・健康維持・増進情報の広報紙作成。高齢者が多い地域であるため、紙媒体の広報が有効。活動自粛による身体機能の衰えリスク・対策などの情報提供により生活習慣病・介護の予防につなげる。 ②広告作成のための印刷環境整備にかかる経費 ③カラー印刷機1台×3,850千円=3,850千円 ※内484千円(複数年保守料)は対象外 ④松崎町庁舎	令和	2	年	9	月	令和	3	年	3	月	3,762,000	3,366,000	感染予防や住民への情報提供などの周知の広報紙を印刷するため印刷機の購入。
11	町内医療機関・介護福祉施設等支援給付金	①町内医療機関・介護福祉施設等の事業継続を支援する。 ②事業所への支援給付金に充当 ③対象13施設、 一律20万円+職員数×5万円(上限120万円) 120万円×4施設=480万円 80万円×1施設=80万円 60万円×3施設=180万円 40万円×5施設=200万円 ④町内の医療機関・薬局・介護福祉施設	令和	2	年	9	月	令和	3	年	3	月	9,400,000	9,400,000	医療機関・介護施設の事業支援のための給付金を支給。13施設、総額9,400,000円。
12	大学生等支援給付金	①松崎町出身の大学生等を支援する。 ②学生への支援給付金に充当 ③対象120人、一律3万円 ④松崎町出身の大学、短大、大学院、専門学校等に在籍している学生	令和	2	年	9	月	令和	3	年	3	月	3,570,000	3,570,000	町出身の大学生等への支援金。119人×30,000円=3,570,000円。
13	高校生支援給付金	①松崎町の高校生を支援する。 ②学生への支援給付金に充当 ③対象150人×一律2万円=300万円 ④松崎町に在住、出身の高校生の扶養者	令和	2	年	9	月	令和	3	年	3	月	2,300,000	2,300,000	松崎町の高校生への支援金115人×20,000円=2,300,000円。
14	温泉使用料の減免	①感染拡大防止、休業要請に応じた宿泊事業者の事業継続 ②温泉事業会計へ繰り出し、温泉使用料金の減免に係る費用 ③1口32,477円を6,811円に減額した税抜額(25,666円×21口×2か月=1,077,972円(税込額)1,077,972÷110×100=979,974円) ④休業要請に協力いただいた宿泊業者	令和	2	年	4	月	令和	3	年	3	月	979,974	979,974	休業要請に応じた宿泊事業者の事業継続支援のための温泉使用料減免費用。7宿泊施設(21口)×2月分(4・5月分)の減免を実施した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況・事業評価

交付金限度額 (A)	337,668,000 円
受入済額 (B)	337,668,000 円
実績額 (C)	336,673,149 円
差引返納 (予定) 額 (B-C)	994,851 円

No	交付金事業の名称	事業の概要(計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期				事業終期				支出済額 [単位:円]	交付金充当額 [単位:円]	事業実施結果及び効果		
			年	月	日	時	年	月	日	時					
15	議場環境整備事業	①ワイヤレスマイクの導入による議場内の3密回避及び議会カメラを整備しネットへの配信を迅速にし傍聴の抑制につなげる。 ②本会議場への会議システムの導入経費 ③ワイヤレスマイク設備整備費 13,920,300円 カメラ設備整備費 6,579,700円 ④松崎町庁舎	令和	2	年	9	月	令和	3	年	3	月	20,240,000	20,240,000	町議会議場の会議システムの導入(カメラ・マイク設備整備)費用。カメラ整備などによりネット配信などが可能になった。事業費20,240,000円。
16	新型コロナウイルス感染症対策管理用備品購入	①庁舎、環境改善センター、生涯学習センターでの来客対応時の飛沫感染対策等を図る。 ②庁舎1Fの各課カウンター用パーテーション、申告会場等用パーテーション及び間仕切り等の購入費 ③庁舎1Fカウンター用 アクリル板パーテーション 1式 164,000円 申告会場等用 パーテーション 1式 53,000円 アコーディオンスクリーン 38,500円×4張=154,000円 アクリルパーテーション 9,300円×9張 93,000円 ④松崎町庁舎、松崎町農村環境改善センター、松崎町生涯学習センター	令和	2	年	4	月	令和	3	年	3	月	459,048	372,502	庁内の来客カウンターでの感染防止のためアクリルパーテーションや税申告などの受付会場用のアコーディオン式の間仕切りなどを購入。事業費459,048円
17	被災者生活再建支援システム整備事業	①コロナ禍で災害発生時における感染症対策に万全を期すと共に、罹災証明申請書等のデジタル化による効率的な被災者支援を図る。 整備により、罹災証明申請手続きから発行までがスピーディーにおこなえることが期待される。合わせて、被災者台帳が整備されることにより、見舞金・義援金等の処理がスムーズに行えることから、安全で速やかな復興が期待される。 ②システム導入費(システム設定及び関連システムカスタマイズ費用) ③システム導入費300,000円 関連システムカスタマイズ費1,100,000円 ④松崎町庁舎	令和	2	年	10	月	令和	3	年	3	月	1,392,050	1,392,050	罹災証明手続き等のデジタル化による災害発生時の感染防止対策としてシステム整備。事業費1,392,050円。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況・事業評価

交付金限度額 (A)	337,668,000 円
受入済額 (B)	337,668,000 円
実績額 (C)	336,673,149 円
差引返納 (予定) 額 (B-C)	994,851 円

No	交付金事業の名称	事業の概要(計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期				事業終期				支出済額 [単位:円]	交付金充当額 [単位:円]	事業実施結果及び効果		
			年	月	日	時	年	月	日	時					
18	避難所用資機材整備事業	①コロナ禍の災害発生時において避難所の感染症対策等の環境衛生に万全を期すために感染予防資機材や避難所の分散対応をするための資機材を整備し感染防止効果を図る。 ②消耗品費、備品購入費 ③投光器 22,000円×30機=660,000円 ワンタッチパーテーション 33,440円×65張=2,173,600円 パーテーション用屋根 10,340円×65張=672,100円 プライベートルーム 66,550円×6張×=399,300円 手指消毒液(1ℓ) 18,700円×2箱(12本入)=37,400円 (5ℓ) 17,600円×10箱(4本入)=176,000円 非接触型体温計 8,118円×2個=16,236円 9,900円×6個=59,400円 折り畳み式簡易ベッド 9,350円×5台=46,750円 防護服 1,001円×100着=100,100円 エコスペース(間仕切り) 16,500円×100個=1,650,000円 給水タンク 440,000円×3基=1,320,000円 ④避難所(松崎町農村環境改善センター、旧岩科小学校)	令和	2	年	4	月	令和	3	年	3	月	6,588,186	6,588,186	災害時の避難所の感染症対策、環境衛生対策としてパーテーションや間仕切り、防護服、給水タンクなどを購入。事業費6,588,186円。
19	海水浴場等感染症防止対策事業	①海水浴場の開設運営関係者に感染防止用品を配布し、海水浴場の感染拡大防止を図る。 ②消毒薬や清掃用手袋等の購入・配布を行った観光協会への補助金に充当 ③センサー式アルコール消毒器(2個入) @9,000円×6箱=54,000円 アルコール容器(ポンプタイプ) @400円×22個=8,800円 消耗品他 87,200円 (別添参照) ④交付対象:松崎町観光協会 用品配布施設:海水浴場のある地区の公的駐車場、公衆トイレ	令和	2	年	7	月	令和	2	年	8	月	150,000	150,000	海水浴場の感染拡大防止のためアルコール消毒液などを購入。事業費150,000円。
20	飲食店クーポン発行事業	①町内の飲食店で利用できる割引クーポンを発行することで、新型コロナウイルスの影響により利用者が激減している飲食店の支援を図る。 ②町内飲食店で使用できる飲食クーポン(1,000円利用毎に200円のクーポン) ③200円×7,500枚=1,500千円 ④松崎町観光協会	令和	2	年	6	月	令和	3	年	3	月	1,074,343	1,074,343	飲食店の支援のための飲食クーポン事業。200円×4,888枚=977,600円、事務費用96,743円。1,200円×4,888枚=5,865,600円の経済効果があった。
21	観光振興対策事業	①お盆時期(8月15、16日)の花火大会の中止に伴い町内宿泊者に花火セットをプレゼントすることで、それぞれの家族、グループ等でソーシャルディスタンス等の感染症防止対策を確保した夏の観光を提供し、満足度の向上及び来年の誘客につなげる。 ②花火セット購入費 ③1,000円×1,400セット=1,400千円 ④松崎町観光協会	令和	2	年	8	月	令和	3	年	3	月	1,049,329	1,049,329	町内の宿泊者に花火セット(1,000セット)を提供し、誘客対策を実施した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況・事業評価

交付金限度額 (A)	337,668,000 円
受入済額 (B)	337,668,000 円
実績額 (C)	336,673,149 円
差引返納 (予定) 額 (B-C)	994,851 円

No	交付金事業の名称	事業の概要(計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期				事業終期				支出済額 [単位:円]	交付金充当額 [単位:円]	事業実施結果及び効果		
			年	月	日	時	年	月	日	時					
22	ライフセーバー感染防止対策事業	①海水浴場のライフセーバーの感染症防止用品整備により、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、海水浴客及びライフセーバーの安全・安心を確保する。 ②感染防止用品購入費(マスク、フェイスガード、手袋、消毒薬等) ③フェイスシールド @1,400円×30個=42,000円 ネックゲイター(マスク) @3,000円×30個=90,000円 心肺蘇生用ポケットマスク @3,000円×30個=90,000円 使い捨てマスク他 128,000円 (別添参照) ④日本ライフセービング協会	令和	2	年	7	月	令和	2	年	10	月	317,364	0	町内の海水浴場に配置するライフセーバーの感染防止のためのマスクなどを購入した。
23	感染症拡大防止支援システム導入事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設利用者に感染が判明した際の利用者への通知及び施設管理者の利用者把握の負担軽減を図るためのシステムを導入する。 ②LINE見守りシステム導入費及び使用料 ③導入費 110,000円 使用料 330,000円×8ヶ月=2,640,000円 ④町内施設利用者、町内施設	令和	2	年	7	月	令和	3	年	3	月	2,750,000	2,750,000	施設利用における感染判明時の利用者通知などのため、LINE見守りシステム導入を導入した。
24	公共交通実態調査事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により変化する移動ニーズを捉えるための実態調査を行い、地域の現状に即した新しい公共交通を検討する。 ②調査委託費、調査に伴う機材借上げ、設置費用 ③委託費3,898千円 タブレット借上料19,855円×20台×6ヵ月=2,382,600円 設置費用10,000円×20台=200,000円 ④バス:(株)東海バス タクシー:(株)伊豆バス、土肥交通(株)、さとづくり総合研究所	令和	2	年	8	月	令和	3	年	3	月	5,500,101	5,500,101	新型コロナウイルス感染症の影響により変化する移動ニーズを捉えるための実態調査を行い、地域ごとのニーズを可視化した。コロナ後を見据えた地域の現状に即した新しい公共交通を検討を進めるための基礎資料となった。事業費5,500,101円。
25	宿泊者向けクーポン発行事業	①町内宿泊施設利用者に町内の飲食店や土産物店で利用できるクーポン券を発行することで、町内での消費拡大により飲食店等の支援を図る。 ②町内飲食店や土産物店で使用できるクーポン券(宿泊利用で500円のクーポン券) ③クーポン券 500円×100枚×74施設=3,700,000円 事務費(クーポン及びポスター印刷費、換金事務費等) 300,000円 ④松崎町観光協会	令和	2	年	9	月	令和	3	年	3	月	2,134,000	2,134,000	町内の宿泊や飲食店等での消費拡大のため、町内宿泊者に飲食店や土産物店で使えるクーポン券を発行。500円×4,268枚=2,134,000円。
26	美しい伊豆創造センター負担金	①伊豆半島全体で観光誘客事業を実施することにより、新型コロナウイルス感染症により危機的な状況の観光産業の回復を図る。 ②誘客対策事業 ③総額26,000千円のうち当町負担分1,770千円 ④一般社団法人美しい伊豆創造センター	令和	2	年	10	月	令和	3	年	3	月	1,770,000	1,770,000	般社団法人美しい伊豆創造センターで伊豆半島全体で観光誘客事業を実施することにより、新型コロナウイルス感染症により危機的な状況の観光産業の回復を図った。総事業費26,000,000円のうち当町負担分1,770,000円。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況・事業評価

交付金限度額 (A)	337,668,000 円
受入済額 (B)	337,668,000 円
実績額 (C)	336,673,149 円
差引返納 (予定) 額 (B-C)	994,851 円

No	交付金事業の名称	事業の概要(計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期				事業終期				支出済額 [単位:円]	交付金充当額 [単位:円]	事業実施結果及び効果		
			年	月	日	時	年	月	日	時					
27	町内宿泊消費喚起事業	①新型コロナウイルス感染症により大幅に減少した観光交流客数の回復を図るため、町内宿泊に対する割引クーポン事業(1泊3,000円)により宿泊客を誘致し、宿泊施設への経済効果を図る。 ②宿泊クーポン及び事務経費 ③クーポン 3,000円×9,200枚=27,600千円 事務委託費(周知、換金手数料、事務費等) 手数料 会員 23,100千円×3%=693千円 手数料 非会員 4,500千円×10%=450千円 クーポン及びチラシ作製、配布費等 57千円 ④松崎町観光協会	令和	2	年	9	月	令和	3	年	3	月	19,785,382	19,785,382	町内宿泊に対する割引クーポン事業(1泊3,000円)により宿泊客を誘致し、宿泊施設への支援を図った。クーポン実績19,039,070円、事務経費746,312円、総額19,785,382円。
28	安全・安心の海水浴場開設事業	①海水浴場への注意喚起の表示設置やパンフレット配布、感染症防止用品整備等により、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、海水浴客の安全・安心を確保する。 ②表示設置、パンフレット配架ケース、感染症防止用品(便器内ウイルス除去シート他) ③看板(脚付き) @9,000円×12枚=108,000円 看板(脚なし) @4,500円×12枚=54,000円 パンフレット配架ケース他 138,000円 (別添参照) ④町内海水浴場	令和	2	年	7	月	令和	2	年	8	月	220,530	220,530	海水浴客の安全安心の確保のため、町内4海水浴場への注意喚起の表示設置やパンフレット配布、感染症防止用品整備等により、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた。事業費220,530円。
29	庁内リモート会議環境整備事業	①会議室等でオンライン会議等を行うために、Wi-Fi受信ポイントを増設及び端末等を購入する。 ②Wi-Fi受信ポイント(DoSPOT)の増設整備、会議用端末等の購入 ③Wi-Fiスポット増設整備費 726,000円 端末 168,300円×3台=504,900円 スピーカーフォン 3台×59,400円=178,200円 ヘッドセット(マイク) 3台×3,300円=9,900円 オフィスソフト 27,500円×3セット=82,500円 WEBカメラ 6,050円×2台=12,100円 初期設定費 1式 13,200円 ④松崎町庁舎、松崎町農村環境改善センター、松崎町生涯学習センター	令和	2	年	9	月	令和	3	年	3	月	1,469,930	1,469,930	感染防止対策として、オンラインでの会議等を行うためのi-Fi受信ポイントを増設及び端末等を購入。Wi-Fiスポット増設整備費726,000円、PC端末等3セット743,930円、合計1,469,930円。
30	庁内情報通信ネットワーク環境整備事業	①執務室内での密を避けるため、臨時的に会議室等で執務が行なえるよう、LAN回線を各部屋に配線する。 ②庁舎(第一委員会室、第二委員会室)及び環境改善センター(大会議室、研修室、健康相談室、文化ホール)、生涯学習センター(ふれあいホール、研修室、町史編纂室、小会議室、相談室)にLGWAN系、基幹系、インターネット系の各回線整備に係る経費 ③環境整備工事費 7,183千円 ④松崎町庁舎、松崎町農村環境改善センター、松崎町生涯学習センター	令和	2	年	9	月	令和	3	年	3	月	6,468,000	6,468,000	執務室内での密を避けるため、臨時的に会議室等で執務が行なえるよう、LAN回線を各部屋に配線した。事業費6,468,000円。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況・事業評価

交付金限度額 (A)	337,668,000 円
受入済額 (B)	337,668,000 円
実績額 (C)	336,673,149 円
差引返納 (予定) 額 (B-C)	994,851 円

No	交付金事業の名称	事業の概要(計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期				事業終期				支出済額 [単位:円]	交付金充当額 [単位:円]	事業実施結果及び効果
			年	月	日	時	年	月	日	時			
31	サステイナブル・ツーリズムの構築	①静岡大学と町の協働によるサステイナブル・ツーリズムの構築により新しい生活様式における持続可能な観光を考え、実践していく ②住民及び事業者向け講座、ビジョンの整理、地域課題の解決に係る事業費 ③委託費 事前調査(文献代) 250千円 謝礼他 1,450千円 需用費 650千円 機材他 900千円 Webコンテンツ作成 他 1,250千円 ④静岡大学、伊豆半島ジオガイド協会、観光協会	令和	2	9	令和	3	3			2,050,869	2,050,869	コロナ過、コロナ後を見据えた新しい生活様式における持続可能な観光を考え、実践していくため、静岡大学と町の協働によるサステイナブル・ツーリズムの構築により住民及び事業者向け講座、ビジョンの整理を行った。2030松崎プロジェクトの活動に繋がった。事業費2,050,869円。
32	感染症対策融資資金利子補給金(基金分)	①新型コロナウイルス感染症により影響を受けた企業に対する利子補給を継続的に行うための基金を造成する。 ②基金 ③対象25件×利子補給額240千円/年×2年=12,000千円 ④感染症の影響により金融機関の融資を受けた事業者	令和	2	9	令和	3	3			5,485,149	6,480,000	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた企業に対する利子補給を継続的に行うための基金を造成。 基金造成6,480,000円、実績5,485,149円(R3年度18件2,818,000円、R4年度19件2,667,149円) ※国庫返納予定994,851円
33	石部棚田オーナー制度継続支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により棚田体験ができていないオーナー会員に地場産品セットを送ることで、棚田や町に愛着を生み、来年度以降の継続に繋げる。 ②石部棚田振興協議会への補助金 ③オーナー会員 9,000円×101口=909,000円 トラス会員 3,000円×64口=192,000円 送料 1,500円×165口=247,500円 ④石部棚田振興協議会	令和	2	11	令和	3	3			1,246,437	1,246,437	石部棚田の事業継続につなげるため、型コロナウイルス感染症の影響により棚田体験ができていないオーナー会員に地場産品セットを送った。事業費総額1,246,437円(163の会員に送付)
34	公共交通事業者緊急支援事業	①新型コロナウイルス感染症により利用者の減少など影響を受けている乗合バス事業者、タクシー事業者の感染症拡大防止対策及び今後の事業継続を支援する。 ②公共交通事業者への支援金に充当 ③バス:(基本額300千円×1事業所)+(加算額30千円×所有台数24台)=1,020千円 タクシー:(基本額100千円×3事業所)+(加算額10千円×所有台数8台)=380千円 ④バス:(株)東海バス タクシー:(株)伊豆バス、土肥交通(株)、さとづくり総合研究所	令和	2	9	令和	3	3			1,400,000	1,400,000	新型コロナウイルス感染症により利用者の減少など影響を受けている乗合バス事業者、タクシー事業者の感染症拡大防止対策及び今後の事業継続を支援するため支援金を支給。バス事業者1事業所、タクシー事業者3事業所に総額1,400,000円を支給。
35	新型コロナウイルス感染症休業見舞金事業	①新型コロナウイルス感染症罹患者の店舗利用等が原因で休業をした事業所に対して、休業の経済的損失について見舞金として交付する。 ②休業見舞金 ③見舞金200,000円×10事業所=2,000,000円 ④感染症罹患者の店舗利用等が原因で休業をした事業所	令和	2	8	令和	3	3			0	0	実績なし
36	一部事務組合下田メディカルセンター負担金(検温測定器購入事業)	①公立病院の玄関に自動体温測定機器を設置し、他の患者や職員の感染予防対策を図る。 ②③一部事務組合負担金:2,250千円のうち、松崎町負担金:375千円 ④下田メディカルセンター	令和	2	7	令和	3	3			375,000	375,000	下田メディカルセンターの玄関に自動体温測定機器を設置し、他の患者や職員の感染予防対策を図った。一部事務組合負担金:2,250,000円のうち、松崎町負担金:375,000円。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況・事業評価

交付金限度額 (A)	337,668,000 円
受入済額 (B)	337,668,000 円
実績額 (C)	336,673,149 円
差引返納 (予定) 額 (B-C)	994,851 円

No	交付金事業の名称	事業の概要(計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期				事業終期				支出済額 [単位:円]	交付金充当額 [単位:円]	事業実施結果及び効果
			年	月	日	時	年	月	日	時			
37	一部事務組合下田メディカルセンター負担金(化学発光酵素免疫測定システム)	①定量抗原検査機器の導入にあたり、その他必要となる関連機器の整備及び工事等を実施し、抗原検査体制の拡充を図る。※定量抗原検査機器本体整備は、緊急包括支援事業(医療分)活用。 ②③ 一部事務組合負担金:7,002千円のうち、松崎町負担金:1,167千円 ④下田メディカルセンター	令和	2年	7月	令和	3年	1月			1,167,000	1,167,000	下田メディカルセンターの定量抗原検査機器の導入にあたり、その他必要となる関連機器の整備及び工事等を実施し、抗原検査体制の拡充を図った。一部事務組合負担金:7,002,000円のうち、松崎町負担金:1,167,000円。
38	医療機関支援事業	①地域の入院、救急医療体制の維持確保を図り、事業を継続して行うための支援金を支給するため。 ②医療機関への支援給付金に充当 ③医療機関の医療体制の確保・継続に係る支援をおこなう(西伊豆町と連携)10,527千円 ④西伊豆健育会病院	令和	2年	9月	令和	2年	11月			10,527,000	10,527,000	地域の入院、救急医療体制の維持確保を図り、事業を継続して行うため西伊豆健育会病院へ支援金を支給。(西伊豆町と連携)事業費10,527,000円。
39	ひとり親世帯支援給付金	①経済的影響を受けやすいひとり親世帯を支援するために生活支援を行う。 ②ひとり親世帯への支援給付金に充当 ③世帯対象35世帯、50人 第1子に5万円、第2子以降2万円 第1子 50,000円×35人=1,750,000円 第2子以降 20,000円×15人=300,000円 ④児童扶養手当を受給しているひとり親世帯	令和	2年	9月	令和	3年	3月			2,050,000	2,050,000	コロナ過で経済的影響を受けやすいひとり親世帯を支援するために給付金を支給した。35世帯、総額2,050,000円を支給。
40	検査結果待機施設確保事業	①観光客等の感染が疑われる場合のPCR検査結果待ち時における帰宅できない場合の待機場所を確保する。 ②待機施設の光熱水費に充当 ③電気料3,000円/月×8か月=24,000円 水道料2,500円/2か月×4回=10,000円 ④PCR検査結果待ちに利用する待機施設	令和	2年	8月	令和	3年	3月			0	0	実績なし
41	公立学校情報機器整備事業	①小中学校児童生徒に1人1台タブレット端末を整備する ※国庫補助対象外分 ②児童生徒用タブレット端末の1人1台整備に係る経費 ③必要額:9,745千円 ・「3人に1台分」(地方単独事業)のうち未整備分 単価57,346円×台数107台=6,136千円 ・「3人に2台分」(国費事業)について国からの定額補助(45,000円/台)への上乗せ分 上乗せ単価12,346円×台数204台=2,519千円 ・その他端末に関する経費:単価57,346円×台数19台=1,090千円 ④松崎小学校及び松崎中学校	令和	2年	7月	令和	3年	3月			9,225,200	9,225,200	感染防止対策のため小中学校児童生徒に1人1台タブレット端末を整備した。タブレット330台、国庫補助を除いた事業費総額9,225,200円。
42	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	①小中学校のLAN整備を行い、オンライン授業ができる環境を整える ※国庫補助対象外分 ②LAN整備等に係る工事費 ③15,466千円 (国庫補助算定基準額15,466千円-国庫補助金7,771千円=7,695千円) ④松崎小学校及び松崎中学校	令和	2年	9月	令和	3年	3月			16,720,000	7,619,000	感染防止対策のため小中学校のLAN整備を行い、オンライン授業ができる環境を整えた。事業費16,720,000円。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況・事業評価

交付金限度額 (A)	337,668,000 円
受入済額 (B)	337,668,000 円
実績額 (C)	336,673,149 円
差引返納 (予定) 額 (B-C)	994,851 円

No	交付金事業の名称	事業の概要(計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期				事業終期				支出済額 [単位:円]	交付金充当額 [単位:円]	事業実施結果及び効果
			年	月	日	時	年	月	日	時			
43	学校給食支援事業	①学校が臨時休業となった際の給食事業に係る事業者支援のための費用 ②給食の主幹商品に係るキャンセル料相当の支援金の支出 ③110,000円(10日分) 牛乳 @18円×3,430個=61,740円 パン @28円×430個=12,040円 麺 @38円×950個=36,100円 ④静岡県学校給食会	令和	2	9	令和	3	2			0	0	実施無し
44	学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①小中学校における感染機会の削減 ②備品購入に係る費用 ③備品購入費2,000千円 【財源】 補助金1,000千円、国庫補助金1,000千円(学校保健特別対策事業費補助金@500千円×2校) ④小中学校の施設管理者	令和	2	5	令和	3	3			2,097,260	1,102,260	小中学校の感染拡大対策として、自動水栓14、空気清浄機5台、ワイヤレス拡声器10台等を購入。事業費2,097,260円。
45	社会体育施設感染症予防対策事業	①社会体育施設におけるトイレの洋式化を行ない使用時のウイルス感染症予防対策を図るもの。 ②トイレ洋式化に係る工事費(男子トイレ6基 女子トイレ7基) ③工事請負費10,707千円 ④松崎町B&G海洋センター 旧岩科小体育館 旧三浦小体育館 勤労者体育館 総合運動場クラブハウス	令和	2	10	令和	3	3			10,109,000	10,109,000	社会体育施設の感染防止のためトイレの洋式化工事を実施。海洋センターほか4施設13基のトイレ改修を行った。事業費10,109,000円。
46	キャッシュレス決済導入支援事業	①町税の納付方法としてスマホ収納を導入。非接触型の納付方法を導入することにより新型コロナウイルス感染予防対策を図るもの。 ②システム導入費(システム設定) ③システム導入費(一式)440,000円 ④町税納税義務者	令和	3	1	令和	3	3			440,000	440,000	感染予防対策として町税のキャッシュレス決済システムを導入した。事業費440,000円。
47	空き家等実態調査事業	①需要が高まっている移住を促進させるため、空き家情報バンクの充実を図る。 ②調査委託費 ③調査委託費一式2,020千円 ④町内空き家	令和	3	1	令和	3	3			2,018,500	2,018,500	コロナ後を見据えた移住促進のため空き家調査を実施。事業費2,018,500円。
48	移住ポータルサイト制作事業	①需要が高まっている移住を促進させるため、町の魅力、生活等の情報発信の強化を図る。 ②ポータルサイト制作業務委託 ③制作業務委託費一式900千円 ④移住希望者	令和	3	1	令和	3	3			880,000	880,000	コロナ後を見据えた移住促進のため、移住ポータルサイトを制作した。事業費880,000円
49	公衆無線LAN整備工事	①都市部からのテレワークを活用した新しいひとの流れの創出を図る。 ②公衆無線LAN整備工事 ③整備工事一式2,300千円 ④町有施設(カサエストレリータ、旧山田邸、石部棚田交流棟)	令和	3	1	令和	3	3			1,897,500	1,897,500	コロナ後を見据えたテレワークの環境整備のため、町有施設への公衆無線LAN整備。事業費1,897,500円

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況・事業評価

交付金限度額 (A)	337,668,000 円
受入済額 (B)	337,668,000 円
実績額 (C)	336,673,149 円
差引返納 (予定) 額 (B-C)	994,851 円

No	交付金事業の名称	事業の概要(計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期				事業終期				支出済額 [単位:円]	交付金充当額 [単位:円]	事業実施結果及び効果	
			年	月	日	時	年	月	日	時				
50	環境改善センター感染症予防対策事業	①飛沫感染防止策としてトイレの洋式化改修を行い、接触感染の防止策として自動水栓の整備及び便座クリーナーを設置することにより、感染症拡大の防止を図る ②トイレ洋式化4箇所、自動水栓設置10箇所、便座クリーナー設置14箇所 ③工事請負費3,500,000円 ④松崎町環境改善センター	令和	2年	11月	令和	3年	3月				3,179,000	3,179,000	飛沫感染防止策として環境改善センタートイレの洋式化改修を行い、接触感染の防止策として自動水栓の整備及び便座クリーナーを設置した。事業費3,179,000円。
51	修学旅行キャンセル料支援金	①修学旅行を中止・延期した場合に発生するキャンセル料等を支援することで、保護者の経済的負担軽減を図る。 ②小中学校修学旅行キャンセル料 ③(小学校)9,992円×32名分=319,744円 (中学校)3,077円×45名分=138,465円 ④小中学校児童生徒保護者	令和	3年	3月	令和	3年	3月				0	0	実施なし
52	松崎小学校網戸修繕	①小学校体育館の網戸を修繕し、換気を改善することにより、児童の新型コロナウイルス感染予防対策を図るもの。 ②小学校体育館網戸修繕 ③修繕費一式212,080円 ④小学校の施設管理者	令和	2年	11月	令和	3年	2月				212,080	212,080	コロナウイルス感染予防対策として小学校体育館の網戸修繕を実施した。事業費212,080円。
53	社会教育施設感染症予防対策事業	①社会教育施設におけるトイレの洋式化を行ない使用時のウイルス感染予防対策を図るもの。 ②トイレ洋式化に係る工事費(男女トイレ計7基) ③工事請負費5,720千円 ④松崎町生涯学習センター	令和	2年	12月	令和	3年	3月				4,477,000	4,477,000	飛沫感染防止策として生涯学習センタートイレの洋式化改修を行った。事業費4,477,000円。
54	成人式感染症防止対策事業	①成人式対象者に抗原検査等を実施し、感染拡大防止を図る。 ②抗原検査キット、マスク等購入費 ③購入費590,000円 抗原検査キット 3,850円×150個=577,500円 マスク 15円×100枚=1,500円 マウスシールド 110円×100枚=11,000円 ④成人式対象者及び関係者	令和	2年	12月	令和	3年	1月				595,958	595,958	成人式参加者の感染拡大防止のため対象者に抗原検査等を実施した。事業費595,958円。
55	妊婦訪問事業	①妊婦支援における新生児の沐浴、着替え、おむつ交換の方法など、新型コロナウイルス感染症対策として戸別訪問で支援を行う。 ②沐浴人形の購入費(2体) ③備品購入費 97,000円×2体=194,000円 ④町民(妊婦)	令和	3年	3月	令和	3年	3月				165,000	165,000	妊婦支援における新生児の沐浴、着替え、おむつ交換の方法など、新型コロナウイルス感染症対策として戸別訪問で支援を行うため沐浴人形を購入(男女2体)。事業費165,000円。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況・事業評価

交付金限度額 (A)	337,668,000 円
受入済額 (B)	337,668,000 円
実績額 (C)	336,673,149 円
差引返納 (予定) 額 (B-C)	994,851 円

No	交付金事業の名称	事業の概要(計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期				事業終期				支出済額 [単位:円]	交付金充当額 [単位:円]	事業実施結果及び効果		
			年	月	日	時	年	月	日	時					
56	学校給食施設感染予防対策事業	①学校給食共同調理場における熱風消毒食器保管庫及び紫外線包丁まな板殺菌庫を購入し、児童・生徒への安全・安心な給食を提供する環境を整備する。またトイレの洋式化により衛生環境の改善し、コロナウイルス等の感染予防を図る。 ②備品購入に係る費用及びトイレ洋式化工事費 ③備品購入費2,000千円 熱風消毒食器保管庫(2台) 1,598千円 (据え付け撤去・電気工事含む) 紫外線包丁まな板滅菌庫 402千円 (運搬撤去費含む) 工事請負費827千円 トイレ洋式化工事(1基) 827千円 ④松崎町立学校給食共同調理場	令和	2	年	7	月	令和	2	年	12	月	2,779,700	2,779,700	学校給食共同調理場のコロナウイルス等の感染予防のためトイレの洋式化を行い、熱風消毒食器保管庫及び紫外線包丁まな板殺菌庫を購入し、児童・生徒への安全・安心な給食を提供する環境を整備した。事業費2,779,700円。
57	駿河湾フェリー運航負担金	①新型コロナウイルスの影響と感染防止のため約2ヶ月半運休した「駿河湾フェリー」に対する負担金を支出し、円滑な運航再開と船員等の雇用の維持を図る。 ②一般社団法人ふじさん駿河湾フェリーへの運休に伴う費用負担金 ③総額22,500千円のうち当町負担分700千円 ④一般社団法人ふじさん駿河湾フェリー	令和	2	年	5	月	令和	3	年	3	月	700,000	700,000	新型コロナウイルスの影響と感染防止のため約2ヶ月半運休した「駿河湾フェリー」に対する負担金を支出し、円滑な運航再開と船員等の雇用の維持を図った。ふじさん駿河湾フェリーへの負担金総額22,500,000円のうち当町負担分700,000円。
58	子ども・子育て支援交付金	①学校休校中に日中面倒を見られない保護者の支援 ②平日開所日の午前対応分の支援員の人件費 ③20日間 109,000円 【財源】 補助金 37,000円、国庫補助金 36,000円、県補助金 36,000円 ④町	令和	2	年	4	月	令和	3	年	3	月	153,600	37,000	学校休校中に日中面倒を見られない保護者の支援を実施。平日開所日の午前対応分の支援員の人件費。事業費153,600円。
59	庁舎感染防止対策事業(トイレ改修)	①庁舎トイレにおける飛沫感染防止策としてトイレの洋式化、接触感染防止策として便座クリーナー設置などの改修を行うことにより、感染症拡大の防止を図るもの。 ②トイレ洋式化5箇所、便座クリーナー設置9箇所 ③工事請負費3,300,000円 ④松崎町役場庁舎	令和	2	年	12	月	令和	3	年	2	月	2,827,000	2,827,000	感染症拡大の防止対策として役場庁舎トイレの洋式化、接触感染防止策として便座クリーナー設置などの改修を行った。(トイレ洋式化5箇所、便座クリーナー設置9箇所) 事業費2,827,000円。
60	加湿空気清浄機整備事業	①庁舎及び各地区公民館へ加湿空気清浄機を整備し、感染防止を図る。 ②加湿空気清浄機購入費 ③加湿空気清浄機 138,380円×45台 ④松崎町庁舎、各地区公民館	令和	2	年	12	月	令和	3	年	3	月	4,648,050	4,648,050	コロナウイルス感染予防のため、役場庁舎及び各地区の公民館へ空気清浄機45台を整備した。事業費4,648,050円。
61	防災倉庫整備事業	①防災倉庫を設置し、避難所の感染防止対策用品の備蓄場所の拡充を図る。 ②防災倉庫設置に係る工事費 ③工事請負費4,750千円 ④町管理施設(旧山田邸)	令和	2	年	12	月	令和	3	年	3	月	4,787,200	4,787,200	町有施設(旧山田邸)へ防災倉庫を整備し、避難所における防災資機材や感染防止対策用品を備蓄するため町有施設(旧山田邸)へ防災倉庫を整備した。事業費4,787,200円。
62	テレビ会議システム導入事業	①災害用テレビ会議システムを導入し、オンラインでの会議等を可能にすることで3密を避け、感染防止を図る。 ②システム導入に係る業務委託料 ③委託料1,462千円 内訳 補助金 731千円 県交付金731千円(事業費の1/2) ④松崎町庁舎	令和	2	年	9	月	令和	3	年	3	月	1,276,000	638,000	感染防止のためオンラインでの会議をおこなうことを可能にするため災害用テレビ会議システムを導入した。事業費1,276,000円。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況・事業評価

交付金限度額 (A)	337,668,000 円
受入済額 (B)	337,668,000 円
実績額 (C)	336,673,149 円
差引返納 (予定) 額 (B-C)	994,851 円

No	交付金事業の名称	事業の概要(計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期				事業終期				支出済額 [単位:円]	交付金充当額 [単位:円]	事業実施結果及び効果
			年	月	日	時	年	月	日	時			
63	住民等の新型コロナウイルス感染症拡大予防事業	①感染の疑いのある者(濃厚接触者等)と接触した住民、職員等に早期に抗原検査を実施し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る。 ②抗原検査キット購入費 ③消耗品費 3,850円×100セット=385,000円 ④感染の疑いのある住民、職員等	令和	3年	1月	令和	3年	2月			385,000	385,000	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、感染の疑いのある者(濃厚接触者等)と接触した住民、職員等に早期に抗原検査を実施するため、抗原検査キット購入費100セットを購入。事業費385,000円。
64	町営宿泊施設支援金	①新型コロナウイルスの影響と感染防止のため休業した町営宿泊施設「伊豆まつざき荘」に対する支援金(民間事業所であれば受けられた雇用調整助成金や持続化給付金等の相当分)を支出し、事業継続と職員の雇用の維持を図る。 ②伊豆まつざき荘事業会計への繰り出し、民間事業所であれば受けられた雇用調整助成金や持続化給付金等相当分の支援金 ③雇用調整助成金相当分9,675,000円、持続化給付金等相当分2,300,000円、支払利子相当分608,000円 ④伊豆まつざき荘	令和	2年	5月	令和	3年	3月			12,429,294	12,429,294	新型コロナウイルスの影響と感染防止のため休業した町営宿泊施設「伊豆まつざき荘」に対する支援金(民間事業所であれば受けられた雇用調整助成金や持続化給付金等の相当分)を支給。事業費12,429,294円。
65	事業所支援特別給付金	①感染症の影響により売上が減少した事業者の経営継続を支援する。 ②国の持続化給付金の対象となった事業所への給付金に充当 ③対象400件、一律20万円 内訳 補助金 55,000千円 県交付金25,000千円(対象事業費の1/2) ④国の持続化給付金の対象となった事業所	令和	3年	2月	令和	3年	5月			60,600,000	43,802,000	コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した事業者の経営継続を支援するため支援金200,000円を支給。事業費 200,000円×303事業所=60,600,000円。
66	避難所生活等環境整備事業	①避難所及び救護所の感染防止対策用品を購入し、生活環境の整備を図る。 ②資機材購入費 ③ベルトパーテーション 7,480円×20個×1.1=164,560円 工場扇 8,500円×20台×1.1=187,000円 納体袋 26,900円×50個×1.1=1,479,500円 プライベートルーム 60,500円×2張×1.1=133,100円 ワンタッチパーテーション 30,400円×20張×1.1=668,800円 テントセット 358,000円×3セット×1.1=1,181,400円 簡易ベッド 14,000円×9個×1.1=138,600円 (財源内訳) 補助金 1,976千円 県交付金1,976千円 ④町内避難所及び救護所(松崎町環境改善センター等)	令和	3年	3月	令和	3年	8月			3,441,768	1,721,000	避難所及び救護所の感染防止対策用品を購入。ワンタッチパーテーションほか事業費3,441,768円。
											385,842,427	337,668,000	